

■脳梗塞後における認知機能低下の予測因子に関する前向き観察研究

(倫理審査委員会 承認受付番号22)

脳卒中は年齢とともに発症率が高く、脳卒中後に約30%の患者さんが認知症を合併したとの報告もあります。

今回当科では、当院に脳梗塞で入院となった患者さんを対象とし、患者様の経過とともに認知機能の追跡検査を行うこととしました。認知機能の低下を予測する因子として有用な結果を評価するために、通常の診察で行う糖尿病の有無の問診や頭部MRIの結果、脳波所見などが認知症発症の予測因子となり得るかを、前向きに検討します。本研究は、通常の診療行為内で検討するものであり、患者さんに対して治療の介入を行うものではありません。

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。ただし、成果を公表する場合には、臨床データを使用させて頂いた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。この研究は南奈良総合医療センター倫理委員会の審査を経て承認を得ています。これらの研究において、ご自身の提供された情報等について患者様またはご家族が問い合わせたい、もしくは利用を拒否したいなどの場合には下記にご連絡ください。なお、拒否されても患者様へ診療上の不利益などは生じませんのでご安心ください。

南奈良総合医療センター 神経内科
TEL 0747-54-5000 (内線 2298 医局)
担当者
小原啓弥